

おおさき生きもののクラブ

・宮城県／大崎市
・開催時期：通年

自然・農・食・景観・多種多様な地域資源が織りなすフィールドミュージアム（世界農業遺産）

体験学習等のイベント内容

・大崎地域の1市4町は、平成29年12月に「世界農業遺産」に選定されました。本地域は、江合川、鳴瀬川の流域に広がる低平湿地を水田利用することで、水田農業地帯として発展してきました。その一方で、東北の太平洋側に特有の冷たく湿った季節風「やませ」による冷害や、山間部の急勾配地帯から平野部の緩勾配地帯に遷移する地形的要因による洪水、渇水が頻発する地域でもあります。しかし、本地域の農家は、厳しい自然環境下で「水」の調整に様々な知恵や工夫、多くの苦労を重ねながら、稲作を中心とした水田農業を発展させ、「大崎耕土」と称される豊饒の大地を継承してきました。

・また、水田や水路、水田の中に浮かぶ森のような屋敷林「居久根」のつながりは、豊かな湿地生態系を育み、多様な動植物の生息空間と独特の農村景観を形成しています。これら、農業及び農業が育む文化、生物多様性、美しく機能的な農村景観が一体となった農業システムそのものが、未来に残すべき「生きた遺産」です。



おおさき生きもののクラブの活動風景（写真提供：大崎市）

取組主体の紹介

おおさき生きもののクラブは、生きものの観察を中心とした体験型環境教育プログラムです。小学1年から参加できる一般プログラムと、詳しく学びたい小学4年生以上が参加できる専門プログラムがあり、各協力団体が持ち回りで主催者となり、毎回内容の異なる様々なイベントを開催しています。

イベントに参加するには

本イベントは、大崎市と市内のNPO法人等が協力して大崎市内に在住する子供たちを対象に企画しているものですが、詳細については、各協賛団体までお問い合わせください。

○NPO法人 蕪栗ぬまっこくらぶ

(TEL:0229-38-1401 FAX:0229-38-1402)

○NPO法人 シナイモツゴ郷の会

(事務局：TEL 080-1832-8437)

○NPO法人 田んぼ (TEL:0229-39-3212)

○NPO法人 鬼首山学校協議会 (TEL:0229-86-2058)

○NPO法人 エコパル化女沼

(事務局：TEL 0229-86-2058)

○大崎自然界部

(TEL:0229-22-1141 FAX:0229-22-1404)

○Social Academy 寺子屋 (TEL: 0229-25-6607)



「居久根」
(写真提供：大崎地域世界農業遺産推進協議会)

収穫体験ツアー

・群馬県／渋川市
・開催時期：年2回

旬の農産物を収穫して農業への理解と興味を深める！

体験学習等のイベント内容

・渋川市で生産されている農作物の収穫体験を通じて、農業を身近に感じ理解を深めてもらいます。

・体験内容は、参加者が生産者のほ場に伺い、野菜の説明を聞いたり収穫の方法を教してもらいながら、作物の収穫作業を体験します。また、体験終了後には、自分で収穫した作物の一部をお土産として分けていただき、収穫の楽しさを感じてもらいます。

・収穫体験には、毎回、市内外の家族連れから高齢の方まで幅広く参加があり、収穫作業を楽しんでいます。普段お店や食卓で目にしている作物が、渋川市内で生産されている身近な作物であることに気づいてもらったり、収穫作業を通じて生産者と交流を深める機会になったりと、農業に対する理解と興味を深めています。



体験先の紹介

渋川市内の農作物生産者のほ場に伺い収穫作業を体験します。旬の野菜や生産が盛んな作物、栽培が始まった新しい作物等、生産者に協力してもらい取り組んでいます。

（過去の収穫品目）

- | | |
|---------|---------|
| ・たまねぎ | ・リンゴ |
| ・じゃがいも | ・しいたけ |
| ・ブルーベリー | ・キャベツ 等 |

イベントに参加するには

広報紙および市ホームページにて収穫体験への参加（年2回・有料）を募集しています。

- ・取組主体等：渋川市
- ・問合せ先（TEL等）：0279-22-2593
- ・参考URL：<https://www.city.shibukawa.lg.jp/>



豊島区の親子が秩父で田植え・稲刈りを体験！

体験学習等のイベント内容

- ・秩父市では、東京都豊島区の消費生活センターが募集・決定した参加者（親子）に対して田植え・稲刈り体験を行っています。参加者の方は、普段口にしているお米がどのように作られるかを学びます。
- ・体験内容は、秩父市大田地区で親子そろっての田植えと稲刈りです。また、休憩時には地元産のお米で作ったおにぎり等を提供し、五感を使って秩父の農業を体感していただいています。
- ・この活動に豊島区の方が年間で延べ100名程度参加し、農業への理解を深めています。また、姉妹都市である豊島区と秩父市での交流を行うことで、都市と農山村のつながりを再認識する場となっています。



取組主体の紹介

取組主体である農事組合法人大田営農は、ウイスキーブランド「イチローズモルト」で知られる秩父市みどりが丘にあるベンチャーウイスキーに原料として大麦を提供するなど、地元の農業、産業の活性化に積極的に取り組んでいます。

イベントに参加するには

イベントの周知・募集は豊島区消費生活センターが実施しています。お問い合わせは下記へお願いいたします。

- ・取組主体等：農事組合法人大田営農・豊島区・秩父市
- ・問合せ先（TEL等）：03-4566-2416

（豊島区文化商工部生活産業課消費生活グループ）

- ・参考URL：
<https://www.city.toshima.lg.jp/124/kurashi/shohi/center/2005270958.html>（豊島区ホームページ）



家族で地元農家と交流しながら農業体験

体験学習等のイベント内容

・都市と農村の共生・交流の推進と、成田市農業の魅力のPRや地産地消の推進を目的に、市内の小学校に通う子供がいる家庭を対象に農業体験教室を行っています。

・体験教室に参加する家族は、春の植付から翌年3月まで、各家族に割り振られた区画で作物を育てます。はじめは教室を運営している成田市農業青年会議所がいくつか夏野菜の苗を用意しますが、空いた部分には各家族で好きな作物を栽培します。栽培方法等でわからないことがあれば体験教室の際や農業青年会議所メンバーが運営しているFacebookで質問することができます。また、秋には梨狩り、冬にはイチゴ狩りを農業青年会議所メンバーの農園で行います。年4回の教室の際には農作業の後に地元農産物の試食やアトラクション等を行っています。

・この活動には年間約20家族が参加し、地元農家との交流を深めています。



取組主体の紹介

取組主体である成田市農業青年会議所は、成田市内の45歳未満の農業者で構成されています。構成員の農家はイネ、サツマイモ、梨、イチゴ等様々な作物を栽培しています。この活動以外にも、地元のお祭りに積極的に参加し地元農産物のPRを行っています。

イベントに参加するには

毎年4月頃に「広報なりた」にて募集をしています。

・取組主体：成田市農業青年会議所（事務局：成田市役所農政課内）

・問合せ先（TEL等）：TEL 0476-20-1542

MAIL nosei@city.narita.chiba.jp

・参考URL：成田市農業青年会議所フェイスブック
https://m.facebook.com/naritashinougouseinennkaigisho/posts/?ref=page_internal&mt_nav=0

島内の小中学生が農業体験に参加し農作業や歴史文化を学習！

体験学習等のイベント内容

・八丈島は、伊豆諸島で唯一水田が開拓された島ですが、花き観葉植物栽培へと変わり水田の姿が消えつつあるなか、島内にはため池、水神社、水の碑等が現存し、当時の面影を残しています。このような歴史文化や美しい農村景観を保存、継承する目的で、田園空間整備事業により島内の小中学生のための体験場所として農園（水田）が整備されました。

・体験内容は、田植え及び収穫作業を地元農家からアドバイスをもらいながら行います。また、セレモニーとして「八丈太鼓」や「石投げ踊り」等の伝統芸能の披露があり、収穫したお米は参加者へ配布も行っています。

・この活動に島内の小中学生のみならず、大人の方も含め年間150人が参加し、中には何度も参加する方もおり、水田での農作業や歴史文化への造詣を深めています。



6月【田植えの部】

取組主体の紹介

取組主体である八丈島田園空間整備運営委員会（事務局：八丈町）は、「離島の水循環」をテーマに田園景観などを実物大の博物館として復元しました。その博物館の中核施設である「和泉親水公園」の中の 하나가和泉体験農園（水田）となります。

委員会では、毎年イベントを実施してきており、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の影響で中止した昨年を除き、既に17回を数えます。

【石投げ踊り】



9月【収穫の部】



イベントに参加するには

開催日が決まりましたら島内のスーパーや公共施設にポスター掲示を行い募集しています。参加希望の方は当日会場までご来場ください。

・取組主体等：八丈島田園空間整備運営委員会

・問合せ先：八丈町産業観光課 Tel.04996-2-1125

・参考URL：

https://www.town.hachijo.tokyo.jp/kakuka/sankan/sankan_denen.html

里都まち♡なかい農作物収穫体験

・神奈川県/中井町
・開催時期：6月～11月

農業体験を通じて農作物を収穫する喜びと食の大切さを学ぶ！

体験学習等のイベント内容

・中井町では様々な分野の農業を体験できるように毎年3コースを実施しています。

- ・米コース 田植えから稲刈り
- ・夏コース ブルーベリー収穫等
- ・秋コース みかん収穫等

・米コースは田植え、草取り及び稲刈りまでのひと通りを体験できます。夏コース・秋コースは収穫体験を行っております。

・この事業は町内外の方が参加され、幅広い年齢の方々に農作物を収穫する喜びと食の大切さを体験していただいております。



取組主体の紹介

中井町では農業委員会委員・農地利用最適化推進委員の協力により収穫体験事業を毎年実施しております。この事業は参加者に中井町を知ってもらう良い機会であると考えていますので、継続的に実施しております。

また、小学校の授業の一環で米が出来るまでの体験も併せて実施しております。

イベントに参加するには

参加方法等は中井町HPをご覧ください。（有料）

- ・取組主体等：中井町 産業振興課
- ・問合せ先（TEL等）：0465-81-1115

